

横浜みどりアップ計画

初冬の森を歩く  
みどりアップ健康ウォーキング



主催：横浜市環境創造局 みどりアップ推進課  
 受託：公益財団法人 横浜市体育協会  
 主管：横浜市レクリエーション連合  
 主管：特定非営利活動法人日本サーチウォーク協会



0m 400m



## 綱島から大倉山まで 初冬の森を歩く

ひんやりとした初冬の空気、陽だまりは小春日和、季節をからだで感じながら森を歩きます。

スタート 綱島地区センター  
(綱島駅約徒歩5分)

ゴール 大倉山記念館  
(大倉山駅約徒歩5分)

所要時間 約3時間

距離 約7.0km

### 市民の森とは…

面積 / 約5ha

市民の森は昭和46年からスタートした横浜市独自の緑地を保存する制度。市民の方々に憩いの場を提供し現在47か所(約547ha)を指定。(平成31年4月1日現在)

※愛護会の方が園路清掃などの維持管理をしています。

▶ 詳しくは

市民の森ガイドマップ

検索



### コースのみどころ

#### 1 綱島市民の森



東急東横線綱島駅から北西に約600mにある住宅地に囲まれた森です。かつて、綱島の名産品であった桃に因んだ桃の里広場では、春にはハナモモが咲き乱れ、美しい景色が広がります。また、晴れた日には展望デッキから、ランドマークタワーを望むことができます。隣には綱島公園もあり、併せて散歩を楽しめます。

面積 / 約6ha

#### 2 熊野神社市民の森



住宅地に囲まれたこの森は、2つの地区に分かれており、異なる雰囲気を感じることができます。天神山とよばれる大地にある広場では、春になると、ソメイヨシノが美しく咲き誇ります。一方、師岡熊野神社の上にある権現山広場では、清閑な雰囲気を感じることができます。

※熊野神社とは  
聖武天皇神亀元甲子年(西暦724年)に全寿仙人によって開かれました。和歌山県熊野三社の祭神と御一体であり、関東地方における熊野信仰の根拠地として、また、横浜北部の総鎮守の宮として古代より現代に至るまで広く篤い崇敬を受けています。



御社紋の「八咫鳥(やたがらす)」

#### 3 獅子ヶ谷市民の森



鶴見区と港北区の境界にある丘陵地帯の森で、ほとんどが北斜面となっています。また、小さな池が3つもあり、夏でもひんやり涼しく感じられる場所です。近くには「みその公園横溝屋敷」があり、昔のこの地域の面影を感じることができます。少し足をのばせば、熊野神社市民の森や駒岡中郷市民の森、ニツ池などがあります。

面積 / 約19ha

#### 4 みその公園「横溝屋敷」



鶴見区獅子ヶ谷町にある「旧横溝家住宅」は、表門(長屋門)、主屋などの屋敷構えが、江戸時代の農村生活の原風景を残している貴重な文化遺産であり、古民家の保存と活用を図る横浜市の指定文化財第一号施設として認定され、平成元年から一般公開されています。横溝屋敷では、復元された建造物群の静かなたたずまいの中に、当時の農村生活資料が展示され、農村の年中行事などの生活体験ができます。

※横溝家は  
横溝家は16世紀末の慶長年間から獅子ヶ谷村の名主をつとめ、初代の横溝五郎兵衛(ごろべえ)から17代続いている名家。



#### 5 大倉山記念館



実業家で後に東洋大学学長を務めた大倉邦彦氏により昭和7年「大倉精神文化研究所」の本館として創建され、昭和56年横浜市が寄贈を受け、大改修のうえ建物の保存を図るとともに、昭和59年に横浜市大倉山記念館として、平成3年には横浜市指定有形文化財に指定されました。開館以来、地域に密着した催し物が多数行われる文化施設として市民に親しまれています。また、ギリシャ神殿様式のピロティ、昭和初期の雰囲気を残す第5集会室、神社建築の木組みを取り入れたホール、エントランスなど、映画やテレビのロケ地としても数多く活用されています。